

第5回美作市庁舎整備検討市民委員会 議事録

- 1 日時
平成27年4月27日（月）午後5時00分～午後6時30分
- 2 場所
美作市民センター 3F大研修室（美作市栄町35番地）
- 3 出席の委員の氏名（15名中11名の出席）
（委員長）鳥越重一（副委員長）春名章良
（市議会代表）谷本有造、鈴木悦子
（公共的団体等の役職員）
有元敏衛、高田義和、中嶋義晴、鳥元 均、谷口征士、山本 壽、高坂敏明
- 4 欠席の委員の氏名
氏原岳人、上田義雄、春名 宏、小谷一夫
- 5 事務局職員等の職及び氏名
市長 萩原誠司、政策審議監 福原 覚
総務部長 尾崎功三、総務課長 高尾和弘、管財課長 月見松男、都市住宅課長 小林
英樹、総務係長 谷口朋弘
- 6 会議の要旨
別紙のとおり
- 7 その他
なし

○会議の要旨

1 開会

2 会議成立の報告

委員15名中11名の出席により成立していることを報告。

3 委員長あいさつ

時候のあいさつに続き、これまでの経緯などを説明。

事前に今日の資料をお送りしているのので、それに基づいて事務局からの説明をいただき、内容について検討していきたい。また、午後7時からこの会場で会議がありますので、午後6時40分くらいには、終了する予定であります。

4 市長あいさつ

庁舎移転関係について二点の資料を用意しております。

一つ目が、議会でもご指摘がありました、木造庁舎についてご検討いただきたい。

二つ目が、今後の場所の選定にも関わってきますが、市有地の一覧の地図をつけてあります。活発なご協議をお願いします。

5 協議事項

1) 資料の説明

鳥越委員長：事務局に対し、資料の説明を指示。

尾崎部長：お送りした資料の中の、「美作市庁舎整備検討市民委員会資料 美作市全図」の説明。真加部 10,000 m²、赤田 21,000 m²、今岡 11,000 m²、山城 23,000 m²、この4か所が市有地（遊休地）でまとまった土地となっています。

小林都市住宅課長：（木造建築について資料に沿って説明。）

- ・木造建築物の法制限について
- ・木造建築の事例について
- ・木造のメリットとデメリットについて
メリットは、軽量であり構造計算に有利、輸送コストの削減、断熱・調湿性に優れる、森林整備の好循環などがあります。
デメリットは、小断面材は燃えやすい、耐久性が低い、湿度に弱い、害虫、天然木材は性能が均一でないため構造計算が困難などがあります。
- ・木造建築のすすめの資料について
P7 建築物の耐火上の要件として、高さが13m、または軒の高さが9mを超える事務所では、準耐火建築物として、防火上の技術的基準（1時間準耐火構造、防火措置）に適合する木造建築物の場合は、耐火要件が緩和されます。4階建て以上、3,000 m²超については、耐火建築物であり、ハードルが高くなっています。
- ・国の予算措置（補助制度）について
木造建築技術先導事業として、先導的な設計・施工技術が導入される事業が対象であり、P27の耐火構造の柱による建築などが例としてあげられます。2時間

耐火構造については、まだ建築されていません。

2) 質疑応答

(委員長)

ご質問・ご意見等ありますか。

(山本委員)

新庁舎はワンストップ（保健福祉部・教育委員会等も含む）でいくのか、各総合支所を有効活用するのか、方向付けはどうしますか。

(委員長)

第4回の時にも話したが、その結論を出すのはまだ早いと考えます。今日は、木造建築の資料検討、市有地の位置と地域等からの意見などを出していただきたいと思います。そして、次回かその次には二案の内の一つにしたいと考えています。

(山本委員)

しかし、総合庁舎にするのか、分散型庁舎にするのかの方向性については、木造建築よりも重要と思いますが。

(委員長)

その協議の前に、地域からこんな意見が出ましたというようなことがあれば、話していただきたい。

(鳥元委員)

まず庁舎建設の場所の選定をしたらどうか。決めてしまうことは難しいでしょうけれども。

(委員長)

庁舎建設の場所をここで決めてしまうということは難しい。場所を決めるといろいろな問題が出てくる。今のところは敷地15,000㎡、建物7,000㎡、事業費42億円、作東総合支所を有効利用する場合、建物2,700㎡の建増しが必要で27億円必要である、他の支所であるなら建物2,500㎡の建増しが必要で32億円必要である、市民にとってどんなものがよいのか（利便性があるのか）検討したい。

(山本委員)

今の作東総合支所の話で、建増しが必要とのことだが、機能を集約するのか等、（分散型でいく場合は建増しが少なくすむ）どういう方向性で庁舎をたてるのか重要である。

(委員長)

今は一つの意見として出してもらえればよいと思います。本庁、保健福祉部、教育委員会など、分散していれば不便であろうという意見もあるだろうと思われる。私もまとめた方が利便性があると思います。

(中嶋委員)

大原地域としては、区長会で、作東総合支所を本庁にする。という結論がでているので、私の考えはすでに決まっています。後は、足りないところを増改築をするということで考えています。既存の総合支所等を改築にするのか、新築移転にするのか、シンプルに考えたらよいのではないのでしょうか。

(谷口委員)

限界集落の増加、少子高齢化、若者の減少、年金額の減少により、税収は減っていく、負の財産を後世に残してよいものかという意見もある。今の施設を利

用して、作東総合支所などが考えられますが、できるだけ起債を抑えることがよいのではないかと。しかし一方で、改築したところで、今の施設は20年から30年経っている施設であり、すぐに耐用年数が来ることが予想されるため、今のうちに（合併特例債があるうち）思い切って建てておこうという考えもある。今日の資料で市有地の一覧の地図について、私が個人的な思いを出すのは好ましくないかもしれませんが、中国自動車道美作インターチェンジ付近を考えています。消防署の本署、美作北小学校、美作北幼稚園、美作警察署、美作保健所勝英支所、経済的にもスーパーもたくさんある、国道・県道等の道路網も整備されていることから他の場所よりも優れている点が多いと考えます。市有地を既に保有していることのほうがよいかもしれませんが。

（高田委員）

勝田地区でも話したが、保健福祉部と教育委員会は現状のままでよいのではないかと。庁舎に保健福祉部と教育委員会が入らないのであれば、建築面積を絞れるし、土地面積も少なくて済むのではないかと。

（総務部長）

総合庁舎でなければいけないということではありませんが、要望とか苦情において、総合的に考えますと、市の行政機関が分散している状態は、非常に不便であるとのことをご意見をいただいています。そこで、今回こうした提案をさせていただいたということです。そのあたりも踏まえたご検討をしていただきたいと思います。

（高田委員）

合併後10年経ち、市民はどこに行けばよいかわかってきている。規模を絞って考えるほうが、よいのかもしれない。

（鳥元委員）

今現在残っている2案の内の一つを決めてからのほうがよいのではないかと考えます。今日の資料の市有地の一覧の地図において、場所を検討しても、一長一短があるし、みんなも納得しないし、決まらない。既存の施設を利用するか、新築移転にするのかまず一番に決めたらよいのでは。

（委員長）

2案のうちでどちらにするかにおいて、いろんな意見があるのではないかと思いますし、その地域において、もう少しメリット、デメリット等あるのではないかと意見をお聞きしたい。

（高坂委員）

合併協で新庁舎を作らないと決めていた。その後、耐震等の問題もあり、新庁舎を作るように改正したと思っています。意見が前後していたら進まないと思いますが。

（総務部長）

各地域審議会の6地域全ての委員さんが作東バレンタインホテルにお集まりいただき、新市の建設計画における、「庁舎は新築しないで既存の建物を利用する」という項目がありまして、この文章を変えさせていただきたいとお申し、おはかりをいたしました。内容としましては「庁舎については、庁舎整備検討市民委員会の意見を尊重し、方向性を決める。」と変えさせていただいたので、新庁舎を建てないという項目は無くなりましたが、新庁舎を建設するとはなっていない。庁舎整備検討市民委員会の意見を尊重し、方向性を決めるということになっています。

(委員長)

私もそのように認識しています。しかし、この建設計画の中の項目が変更になったからといって、すぐに新庁舎を建てるのではなく、この委員会の中で協議を進めていきたいと思っています。

(高坂委員)

そこから一步進んで、特例債の期限が来るので、特例債を使って建てようと思ったのではないですか。

(委員長)

もし、新庁舎を建てるなら期限もあるので、期限内に合併特例債を使って建てるということです。

(中嶋委員)

新庁舎の土地取得をした場合、約3億円必要ですが、今日の市有地一覧の地図の土地を使用した場合は、土地代は少なくなるということですか。

(総務部長)

土地代については、3億円も見込みでして、場所や広さによって正確な金額は出てきません。地図上の土地にしましても15,000㎡程度必要と前回に説明させていただきましたが、今回は一応参考として10,000㎡以上の4か所の土地をあげさせていただいております。

(山本委員)

前回会議の宿題として、作東地域審議会の旧役員が寄って話をしましたが、合併して10年になりますが、保健センターが北山、教育委員会が作東で、そんなに不便に感じたことは無い。既存施設を有効活用して、今のままの施設の形態でよいのではということでした。車に乗る人は不便はないし、年寄りも、作東総合支所ですべてのことができるので、不便を感じたことが無いようです。

(有元委員)

私なりの意見として、これから50年から100年を考えた場合、既存施設についてもあと20年から30年で耐用年数がくることから、40億円から50億円の力(気力)があるのなら、行政をまとめた新庁舎がよいのでは、そこで勝田では10,000㎡あるので、土地代もかからず、合併時の基金(文化センター)もあるのではないかと思います。よいところなので一つの選択肢に入れて欲しいと思います。

(高坂委員)

それぞれ地域の代表で来られているので、地域の利便性のあるところに本庁舎があったらよいと誰もが思います。本庁舎の位置というのは非常に難しい、合併のときも大きくもめた、やっと決まったのが今の場所です。合併後10年経ち、またもめるのであれば、新庁舎は建てないほうがよいと思う。今の本庁舎の近くに新築するのなら私は大賛成ですが、庁舎位置に関しては一番もめる所なので、後にしていただきたい。

(谷口委員)

現在の分散型の庁舎については、合併後10年経ち、今ではもう慣れて、不便とは思っていないと思います。

(高田委員)

市有地一覧の地図の勝田ひまわりドームは、雇用促進の駐車場5,000㎡が入っていますか。

(総務部長)

入っていません。ひまわりドームを含めて15,000㎡ありまして、ひまわりドーム分の5,000㎡を引いて、10,000㎡としています。

(委員長)

議員代表としましての意見等ありますか。

(鈴木委員)

わたしたちは、議会代表として、出させていただきますので、いま現在の意見は控えさせていただこうと思っています。

(高坂委員)

一つに集中した総合庁舎はよいこととは思いますが。そして各総合支所の施設が合併前のおり残っているため、人員配置が必要であったり、出先機関があちこちに置いているのではないかと、大きい割りに職員が少ないことが、問題なのではないでしょうか。総合支所をもう少しコンパクトにして、各出先機関も一つにまとめてはどうか。

(市長)

総合支所があるから人を置いていると言われましたが、人員配置においては、各総合支所はぎりぎりの体制でありますし、大きいとは思っていません。ただ今後、新庁舎として活用できる総合支所とそうではない総合支所があることは、理解していただきたい。活用案であれば、現在出ている2か所であろうし、新庁舎として、他の場所であれば、所有者との問題もあり、早急に決めないと、合併特例債の期限までには難しいということです。

(委員長)

山本委員から、分散型の庁舎でも、不便はないという意見がありましたが、買い物難民の話もあるほど高齢者は困っています。一か所に集まっている総合庁舎で行政の用事を済ませ、買い物をして帰ってくる。というようなことも考えてあげる必要があるのではないかと思います。

(鳥元委員)

いろいろな話が出ましたが、総合したら、新築にするのが妥当ではないか。もうそろそろ決めてはどうか。だれが考えても、この今の庁舎付近に新築するのが良いとは思いますが。お金のこととか、買収問題等ありますが、どの地区から考えても、そんなに変化がないということも大きい。

(委員長)

そろそろ時間がきていますが、この会議の欠席の方もおられますので、議事録を送付していただき、次回会議において、地元意見等を協議した後、新築、改築を決め、場所については、利便性がある場所が望ましいというような内容を盛り込むというようなことでどうでしょうか。

(市長)

新築・改築は別として、分散型にした場合、保健センター、教育委員会はそのままの場合の、建物の金額・面積の試算がありますので、次回会議に添付します。

(山本委員)

本庁がこの場所で無くなるということは、最低でも美作総合支所が必要ということですか。

(総務部長)

仮に、旧美作町内に移転した場合は、そこが本庁舎になりますので、美作総合支所は不要になります。旧美作町外であれば、美作総合支所が必要となります。

その総合支所が美作市民センターとなることも選択肢の一つと考えられます。
(山本委員)

その美作総合支所が14億円掛かるのですか。
(総務部長)

1億4千万円です。これは建てるとした場合です。(建物のみの金額)
(委員長)

春名副委員長の意見を聞きながら、今日は、これで閉会としてよろしいでしょうか。

(春名副委員長) (閉会の挨拶も含む)

私は、前回から申しているとおおり、一つにまとめるのは難しいため「第1候補はこれ、第2候補はこれ」にするのがいいと考えています。その考えは変わっておりません。

今日の会議において、木造の案があり、メリット・デメリットを聞かせていただきました。そしてデメリットについては、相当程度の解消が見られ、木造建築のいいところも多くあるということがわかりました。

勝田・作東・美作において、改築・新築等意見が多くでました。これは議事録を参照していただきたいと思います。次回会議においては、もう少し絞っていきたいと考えています。そこで皆さんにお願いがあります。一つ目が、今までの資料の要点を頭に入れておいて下さい。二つ目が、地元の意見を頭に置き、委員さんは旧町村の人ではなく、美作市民として来ていただきたい。新築にしても改築にしても反対意見は出ると思いますので、美作市民の目で自分の意見を持ってきていただきたい。以上もってこの会議を終了します。また、もう少し早い時間にしていただきたい。次回会議の予定はいつごろですか。

3) 次回の会議開催時期について

尾崎部長：6月議会がありますので、議会終了後の6月末に予定させていただきます。日程については委員長と相談して決めさせていただきます。

6 閉会